

事業所名	さわやか愛の家さいだいじ武番館	作成日	2024/10/01	送迎の有無	有
法人理念	『慈愛の心 尊厳を守る お客様第一主義』				
支援方針	『子ども達のステップアップをサポート』 さいだいじ武番館では家庭や学校、相談支援事業所等との連携をし、今の課題や将来を見据えて必要なことをいつも擦り合わせしながら支援にあたっています。本人とのモニタリングでは「なりたい自分」「将来の自分」のイメージをもつことで、ライフステージの切り替えを見据えた将来的な移行に向けて、「今の自分に必要な課題は何か？」本人や家庭と連携しながら療育を進めています。また保護者の方が、いつでも気軽に相談できる場所としても機能を果たせるよう、近況を伺ったり、困っていることがあれば、一緒に考えたり、時にはアドバイスもさせて頂いています。				
営業時間	平日 9:00~18:30 学校休業日等 8:30~18:00 サービス提供：平日 15:45~17:30 学校休業日等 10:15~16:30 (家庭都合に合わせて延長可)				
プログラム例	支援内容				
健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・生活面の自立を目指し、おやつや食事の準備片付け（自分が使用した器を洗って拭き上げ、食器棚に戻す）は食事のたびに自分で行っています。洗濯機の使い方、洗濯物干しも頑張っています。また野菜や果物の生育に関わり、収穫、クッキングも定期的に行っています。色んな食材やメニューに挑戦することで、偏食の改善になっています。 ・健康面としては、来館時には検温し、手洗いは支援者が見守りを行っています。学校から怪我や体調不良で下校している場合は本人から状態を聞き取って、必要があれば保護者と連絡を取り合うようにしています。また不登校の状態にあるお子様に対しては、家庭や学校等ご本人を取り巻く関係者と支援の状況を共有し、連携を図りながら、関わるようにしています。本人の気持ちに寄り添うこと、抱える不安の解消、社会的コミュニケーションを図りながら自己肯定感を高めることが出来るように努めています。 				
運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・ボディイメージを育てるために、感覚統合的な運動遊び、集団活動を行っています。また祝日や長期休みには広いホールを借りておもいっきり体を動かしたり、走ったり跳んだりできる粗大運動も行っています。 ・季節の自然にも触れながら五感を使って活動出来るように心がけています。トレッキングや、広い公園に出かけ総合遊具で遊んだり、戸外の広場でサッカーや鬼ごっこをしたり、風船パレーなどの集団遊びも行いながら、運動面だけでなく、ルールや勝敗についても学べるようにしています。 				
認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・昼食の買い物レクを通して、自分が買ってきた食品の容器を開ける、ふたを開ける、電子レンジの使い方を知り使ってみるなど自立に向けて出来ることを少しずつ増やしています。またプログラミングクッキングでは、出来上がりをイメージしながら食材を選ぶ、混ぜる、調理する、盛り付けるなど行っており、作る楽しみ・食べる楽しみの経験が出来ています。・ライフステージに合わせた内容としては、可燃ごみの袋結び練習、上靴洗い、紐靴のリボン結びやズボンベルトやカッターシャツのボタンはめ、自転車や電車での通学の経路の確認も行っています。 ・音楽専科の教員免許を有する職員の生の演奏を聴く機会を通して音程、音感を養う療育を行っています。また発声練習や色々な曲に親しむことも行っています。子ども達自身が企画した音楽コンサートも定期的に行っており、自分達で役割を考え、出演する側、盛り上げるスタッフ、お客役それぞれがアイデアを出したって楽しめる自主活動も楽しんでいます。 ・製作活動では、手先指先を使った季節の製作を行っており、子ども達のリクエストにも応えながら、内容を考えています。興味関心や得意不得意などを考慮しながら、個別対応、ペア活動、小グループ、集団での一斉指示での対応など、その時々に応じて対応しています。 				
言語・コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・友達同士や支援者との関わりの中で、語彙が増えていくよう、具体的な言葉の獲得が出来るようにしています。また正しい対人アプローチが出来るように、支援者が代弁したり仲立ちになるようにしたりしています。・来館中のやり取り全てが学びとなるよう場に合った言葉づかいを、繰り返し知らせています。 ・食事やおやつ場面では「頂きます。」「ご馳走様でした。」はもちろん苦手なものを減らしてほしい時のやり取り、お代わりが欲しい時などは具体的な伝え方を、支援者とやり取りしながら、その都度学んでいます。 				
人間関係・社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・外出レクでは社会性が身につくように色々な場所に出かけています。美術館、博物館、工場見学や地域の児童館、ふれあいセンター、テーブルマナーを兼ねた外食体験なども行っており、場に合ったふるまい方や入場券の買い方なども積極的に知らせています。 ・公共交通機関が使えるように電車やバスの利用もしており、自分達が乗る時間を検索し、券売機で切符を購入する、分からなかったら聞くなども練習しています。 ・昼食やおやつのお買い物体験では、自分が食べたいものを予算内で計算しながら買い物する練習を行っています。有人レジでのやり取りやセルフレジでの機械の使い方も練習しています。新学期前には、自分が学校で使う文房具の残り状況を確認し、自分で選んで買い物もしています。 				
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳、ブログなどを使用して日常の活動や発達に関する情報提供を行います。また家庭での困りごと、心配ごとだけでなくお子様の成長や頑張っていること、ご家族の楽しかったことや喜びは常に共有させて頂いており、職員全員が気軽に何でも話せる人でありたいと考えて対応に努めています。 				
移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・支援計画更新時には、関係機関との担当者会議を必ず行っています。特に学校面談では、利用者であるお子様のクラスでの面談をさせて頂いていることで、日々の学校生活での環境はもちろん、頑張っている製作物や学級新聞なども見せて頂き、共有させて頂いております。また相談支援員さんのモニタリングや併用されている他事業所とのすり合わせも行っており、課題の共有と擦り合わせを常に行いながら、支援計画に反映できる内容については盛り込み、日々の支援に生かしています。 ・お子様一人ひとりと個別でアセスメントやモニタリングを行っており、課題評価だけでなく、「なりたい自分」「将来の夢」についても、一緒に話をして夢を現実にするために必要なことを提案しています。思春期の児童は、メンタルヘルスの課題も顕在化してくることもあり、一人ひとりの悩みや心の不調、病気の兆しなども視野に入れながら関わるようにしています。 				

地域支援	<p>・地域社会への可能な限りの参加に心がけており、多様な学習、体験、活動を行っています。2024年度の春には、視覚障がい者のランニングクラブ「ももたろうパートナーズ」との交流会を行い、伴走ロープを使って一緒に歩くことも体験しました。夏休みには岡山市東区で歴史のある醤油蔵「日の出醤油」での社会科見学とミニ音楽会を行っています。また地域の児童館でのお楽しみ会にも参加をしており、地域に根差した事業所として頑張っています。</p>
職員の質の向上に資する取組	<p>法人全体として、採用後2か月以内の新人研修に加えて、月一回のスキルアップ研修を実施しています。その他、安全計画に基づいた防災等安全管理のための研修や支援の専門性に特化したケーススタディを実施しています。その他、外部研修にも積極的に参加しております。</p>
主な行事	<p>お正月 ・バレンタインデー・ひな祭り・こいのぼり制作・ 夏祭り・ハロウィン・勤労感謝のプレゼント作り クリスマスパティー（家族参加）・ お誕生日会・お楽しみ会・保護者会（子育て勉強会）・家族参観日など その他季節の行事や外出活動(水族館 博物館 公園 図書館 展覧会 工場見学など)</p>